

# 都市再生整備計画(第4回変更)

よこはまえきしゅうへん  
横浜駅周辺地区(第2期)

神奈川県 よこはま 横浜市

平成26年11月



都市再生整備計画の整備方針等

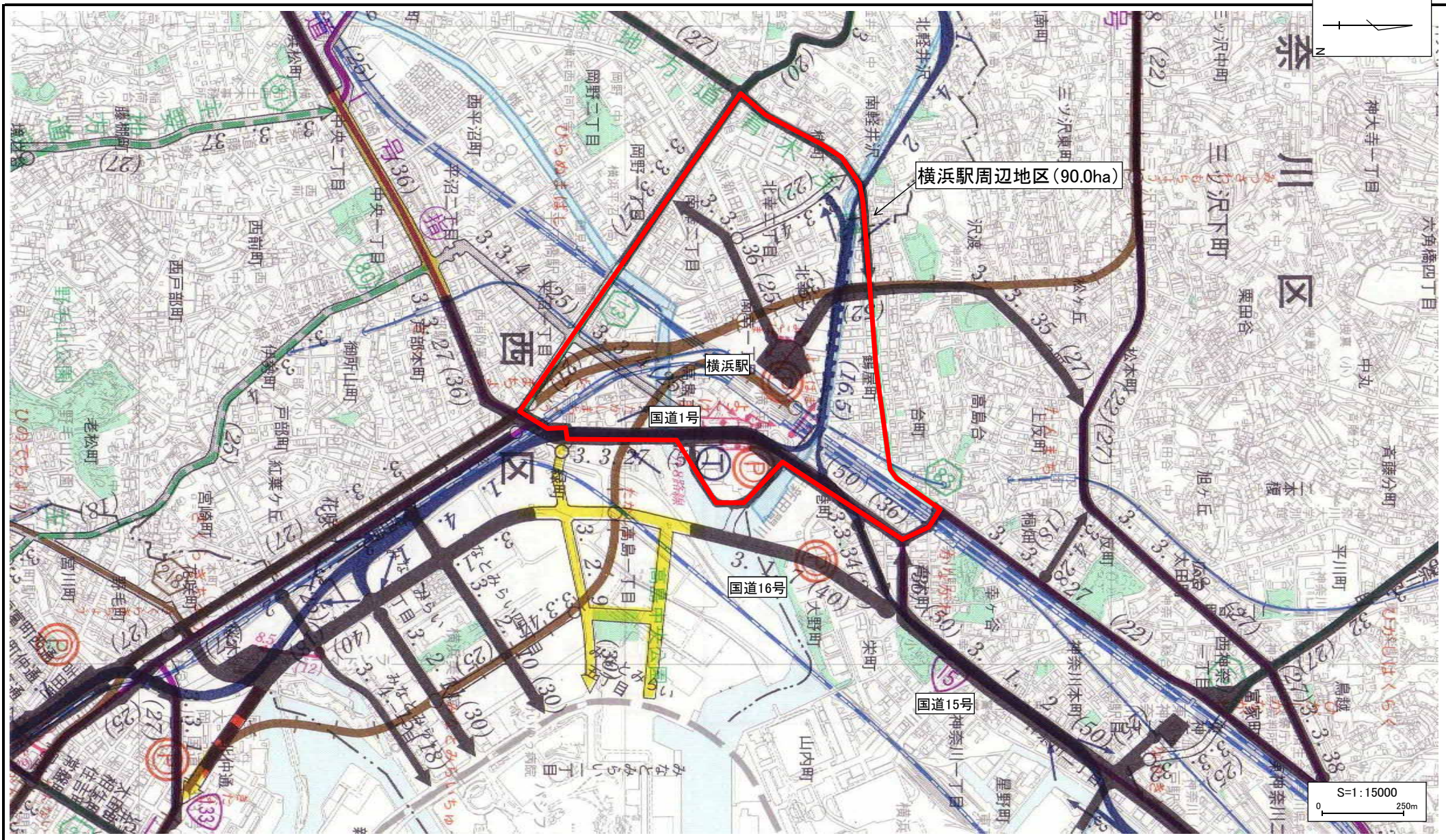
計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>・洪水時に河川から溢水することのないよう、河川の治水安全度の向上を図る。</p> <p>・鶴屋橋は1日に約5万人以上の歩行者が通行しており、常に混雑している状況。</p> <p>・将来は、約8万人が通行する予定で、現況の歩道幅員5mでは不足する。</p> <p>・鶴屋橋の周辺は上空の首都高速道路のために魅力ある空間整備ができていない。</p> <p>・地元からは、鶴屋橋の架け替えや周辺の魅力ある空間整備について強い要望があげられている。</p> <p>・鶴屋橋は、竣工が昭和30年であり老朽化が進んでいる。</p> <p>・過去に地元調整や施工の困難性から頓挫した経緯がある。</p> <p>・エキサイトよこはま22において、即座に解決すべき重要課題の一つに位置付けられている。</p> <p>【対応策】</p> <p>・地元の理解を得るために、架け替えだけでなく、魅力的なまちづくりの計画を提案する。</p> <p>・鶴屋橋を架け替えて、河川上の橋脚を撤去すること。</p> <p>・また、架け替えの際、歩道幅員を拡幅するとともに、橋梁のデザインや首都高桁下に照明を導入するなど工夫して、魅力ある空間を創出する。</p> <p>・幸川の河積阻害の要因となる内海橋の桁を、計画高水位(T.P.2.3m)以上にかさ上げする。</p>	<p>・鶴屋橋架替え</p>
<p>・駅を中心に東西を一体的かつ円滑に移動・回遊できる歩行者ネットワークの整備を行うため、駅直近部における地上、地下レベルで構成される立体的な歩行者ネットワークを構築する。</p>	<p>・横浜駅西口地下街回遊空間形成事業【(参考)関連事業】</p> <p>・横浜駅西口駅前広場改修整備事業【(参考)関連事業】</p>
<p>・慢性的な渋滞が生じる交差点の渋滞長を縮減させる。</p>	<p>・岡野交差点改良</p>
<p>その他</p>	



都市再生整備計画の区域

横浜駅周辺地区(第2期)(神奈川県横浜市)

面積	90.0 ha	区域	横浜市西区、神奈川区
----	---------	----	------------



# 横浜駅周辺地区(神奈川県横浜市) 整備方針概要図

目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>横浜駅周辺にふさわしい治水安全度を確保する。</li> <li>駅を中心に東西を一体的かつ円滑に移動・回遊できる歩行者ネットワークの整備を行う。</li> <li>歩きやすく、わかりやすい歩行者空間の創出を図る。</li> <li>平成21年に取りまとめた計画「エキサイトよこはま22」の実現に向けて、更なる具体化を行う</li> </ul>	代表的な指標	横浜駅周辺地区の治水安全度の向上 (河川流量)	260m <sup>3</sup> /s	(22年度)	→	350m <sup>3</sup> /s	(27年度)
			交差点の渋滞長の減少 (延長)	200m	(24年度)	→	150m	(27年度)

